



特定非営利活動法人
明るい社会づくり運動

令和 5 年度 第 23 回通常総会

(資 料)

日 時 令和 5 年 6 月 18 日 (日) 13 : 30 ~ 15 : 30

場 所 佼成図書館 視聴覚ホール
〒166-0012 東京都杉並区和田 1-2-1

通常総会次第

1. 議長選任の件（含：定足数確認）
2. 議事録署名人選任の件
3. 審議事項
 - （1）令和4年度事業報告書（案）の件 P 2
（参考：令和4年度事業の報告）
 - （2）令和4年度活動計算書（案）の件 P 8
（事業並びに収支および個人情報保護についての監査報告）
 - （3）監事継続の件 P14
 - （4）東京都・法務局等への提出・申請書類の字句修正付託の件 . . P14
 - （5）被災地支援金の使途について P14
4. 報告事項
 - （1）令和5年度事業計画の件 P15
 - （2）令和5年度収支予算の件 P18
 - （3）理事変更の件 P22
5. その他

以 上

3. 審議事項

(1) 令和4年度事業報告書(案)の件 (2) 令和4年度活動計算書(案)の件

書式第12号(法第28条関係)

事業報告用

令和4年度 事業報告書(案)

令和4年4月1日から令和5年3月31日

特定非営利活動法人 明るい社会づくり運動

1 事業の成果

本年は、2030年を目指したSDGs(持続可能な社会の実現)を柱とした事業の1年目だった。

サステナブル事業の一斉活動「SDGs活動の日」では28団体821人の参加があり地域での清掃を行った、一緑運動(ICAJapanへの植樹活動支援)は全国から4696枚の未使用ハガキが集まった。

ネットワーク事業のMeishaミーティング(オンライン)では全国の会員56名が参加し意見交換を行い互いの理解を深めた。また、明社推進連絡会では午前は団体賛助会員33団体参加し、事務手続きの確認と互いの現状の理解を図った。午後の「SDGsを学ぶ」と題した講演会では53人が参加し、堺講師からSDGsの基本を学び質疑応答が活発の行われ日常生活での実践に関心が高かった。また「はーとふる」の購読者が増加した。

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

(事業費の総費用【5,813】千円)

定款に記載された 事業名	事業内容	日時	場所	従事者 人数	受益 対象者 範囲	受益 対象者 人数	事業費 (千円)
明るい社会をつくる ために活動して いる国内外の諸団 体との交流・協力 活動の推進	サステナブル事業 (1)一斉行動 「SDGs活動の日2022」 で清掃活動を行った。	令和4年 11月23日	東京都 他 27ヶ所	821人	実施 した 28市 町村町	不特定多数	84
	サステナブル事業 (2)「一緑運動」 特定非営利活動法人 ICA文化事業協会 (ICAJapan)の主催す るアフリカの植林活動 を支援した。	随時	法人 事務所	2人	ケア カジアト郡 イニア地区	不特定多数	45
明るい社会づくり を推進するための 人材の育成	サステナブル事業 (3)「子ども活動」 こどものためのSDGsセミ ナーを開催した。	令和5年 3月26日	東京都 杉並区	5人	小学4生 から中学生	43人	29
明るい社会づくり の精神を啓発・普 及するためのセミナー・ シンポジウム・講演会・ 大会の開催	ネットワーク事業 (1) Meishaミーティング (WEB) これからの運動の今 後のあり方を討議し た。	令和4年 9月14日	法人 事務所	6人	会 員	33団体 53人	110
	ネットワーク事業 (2) 明社推進連絡会 本運動を推進する全 国の代表者が参加し 運動のこれからのあ り方を討議した。	令和4年 4月24日	法人 事務所	6人	会 員	52人	290

明るい社会づくり運動に関する調査研究の推進	調査・研究事業 (1) プラットホームづくりのための情報収集 全国都道府県・地区明社へ「アンケート」を送付して情報収集を行った。また、地区明社の広報誌・記念誌等の保管等を行った。	随 時	法人事務所 他	6 人	会 員 一般市民	不特定多数	124
	調査・研究事業 (2) 各種セミナーへの参加 桜ライン311植樹説明会/WCRP「いのちに関する学習会」/「NPO法人日本NPOセンター」総会/「広がれボランティアの輪」総会・講演会/NPO 会計等WEBセミナーに参加した。	令和 4年 4月 8日 7月 2日 6月10日 6月14日 令和5年 3月10日 3月20日 3月24日	東京都中央区	3 人	事務局	5 人	0
明るい社会づくりの精神を啓発・普及するための情報の収集と提供	広報事業 (1) 機関誌『はーとふる』の発行 本運動の推進に役立つ情報を提供し、都道府県・地区明社への支援に寄与する。	年4回 春(4月) 夏(8 月) 秋(10月) 冬(1月)	法人事務所	6 人	会 員 寄付者 一般市民	20,893人	3, 653
	広報事業 (2) Web配信 法人明社の事業のお知らせ、地区明社の活動状況等を掲載した。	随 時	法人事務所	2 人	会 員 一般市民	不特定多数	920
	広報事業 (3) 明社レンジャー 衣装の貸し出し等	随 時	法人事務所	2 人	会 員	不特定多数	0
	広報事業 (4) 広報ツールの開発 勧募リーフレットの作成・SDGsクリアフィルの作成を行った。	随 時	法人事務所	6 人	会 員	不特定多数	558

(2) その他の事業

(事業費の総費用【 0 】千円)

定款に記載された 事業名	事業内容	日 時	場 所	従事者人	事業費 (千円)
無 し					

令和4年度の事業報告（参考・詳細報告）

1. サステナブル事業…

（1）一斉活動「SDGs活動の日」

日 時：令和4年11月23日

参加数：821名(28団体)

内 容：28団体がそれぞれの地域で清掃を行った。当日は地域によっては天候不順で活動できないところもあったが公園や道路等公共の場や寺社仏閣の清掃が行われた。地域がきれいになることでゴミを捨てなくなる意識が高まって欲しいとの願いの声もあった。ボランティア証明書は96名に発行した。

いちりょく

（2）一緑運動（未使用ハガキの活用）

目 的：未使用ハガキによる国際支援活動を行う。

地球温暖化による干ばつ、砂漠化が進行する状況の中で水や食物などを満足に得られない過酷な環境の中で暮らす人びとへの支援を行う。特定非営利活動法人ICA文化事業協会(ICA ジャパン)の主催するアフリカへの植林活動を実施する。

内 容：・令和4年度上期贈呈額 150,000 円（未使用ハガキ枚数 1,261 枚、現金 18,275 円）
（寄贈者）越谷・吉川・松伏明るい社会づくり運動協議会、明るい社会づくり運動三重県協議会、高崎明るい社会づくりの会、旭川明社事務局、廣中身知子、匿名2人、明るい社会づくり運動西兵庫協議会、山本俊一、佐藤益久、武井健一、井手瑞穂（現金：真田憲成（10,000 円）、ザファール江津子（8,275 円））
・令和4年度下期贈呈額 172,935 円（未使用ハガキ枚数 3,435 枚、現金 58,353 円）
土屋新吾、井手瑞穂、原田委久世、ザファール江津子、静岡県明るい社会づくり運動磐田地区協議会、明るい社会づくり運動千葉県フォーラム（58,353 円）
・令和4年度贈呈額 322,935 円（未使用ハガキ合計枚数 4,696 枚、現金 58,353 円）

（3）子ども活動

目 的：持続可能な社会をつくっていくためにはどのような取り組みが必要なのかを学ぶ。

日 時：令和5年3月26日(日) 13:30～15:30

参加者：43名

内 容：堺勇人講師が『未来のために考えること—自分と社会の幸せ探し—』をテーマにワークショップを実施した。17の目標が記されたシールを張った模造紙に子どもたちが「困りごと」を書いた付箋紙を張付けた。その後、自分の「好きなこと・得意なこと」で困りごとを解決する物語を作ることをグループごとに話し合った。堺講師の気づきを促す触れ合いが子供たちの発想を豊かにして活発なグループワークになった。最後に「自分の得意な事好きな事を活かして取り組むことが大切で日常生活でできることをコツコツ繰り返すことがSDGsに繋がり周りの人が幸せになっていくことではないでしょうか」と述べた。

2. ネットワーク事業

(1) Meisha ミーティング(オンライン)

日 時：令和4年4月24日(日) 13:30~15:30

参加者：56名(運営会員、個人賛助会員、団体賛助会員)

内 容：奈良県中和ブロック・福井達夫会長と埼玉県上尾明るい社会づくり運動の中山時次理事長が活動事例を発表した。その後、グループミーティングで意見交換が行われ、各グループの代表が話し合いの内容を発表した。
明るい社会づくり運動の今後のあり方を語り合うなかで、それぞれが抱く「明るい社会づくり運動」に対する思いを共有し、閉会した。
ミーティングを重ねていく中で、会員相互の交流と共に、それぞれが自分たちがおかれた場所で「よりよい社会を築いていく」ことへの思いを確認しあう機会となった。

(2) 明社推進連絡会(オンライン)

日 時：令和4年9月4日(日)

「連絡会」10:00~12:00 「講演会」13:30~15:30

参加者：「連絡会」33団体、「講演会」53名

内 容：「連絡会」は事務手続きの確認の後、「明社運動の今後のあり方」「地域における明社活動のあり方」について意見交換を行った。それぞれのグループの代表が話し合いの内容について発表し午前の部を終了した。

「講演会」は一般の方も参加し、「SDGsを学ぶー未来へ続く地域社会を目指して」講演会が行われた。講師の「一般社団法人環境市民プラットフォームとやま」事務局長の堺勇人氏より、SDGsの意義、17の目標と169のターゲットを詳述し、日本のSDGs達成度は、163か国中19位だがジェンダーや環境に関する目標が最低評価となっており、深刻な課題になっていると説明。「今だけ、自分だけ」という自分本位の言動を見つめなおし、「自分も、周りも、未来も」という包摂的な視点に改めることが重要と強調した。

(3) 相談業務

目 的：都道府県・地区明社からの各種相談を行う。

コロナ過での活動のあり方、協力団体との関係等について

3. 調査・研究事業

目 的：情報収集を行い今後の事業へ反映させる。

内 容：情報収集を行い、当運動の今後のあり方を考えていく。

(1) 「明社プラットフォーム」づくりのための情報収集

・令和4年度に地区明社を対象にアンケート調査を行った(発送数482、回収数223)。

(2) CIに関する情報収集

・CIに関するセミナー参加し、調査、研究を行っている

(3) 各種セミナーへの参加

・桜ライン311植樹状況説明会	2022年 4月 8日
・WCRP「いのちに関する学習会」(WEB学習会)	2022年 7月 2日
・「NPO 法人日本NPO センター」総会参加	2022年 6月 10日
・「広がれボランティアの輪」総会参加(WEB 総会)	2022年 6月 14日

- ・中央区環境課講演（滝沢秀一氏）に参加
- ・食・運動・社会参加の慶和夢の会に参加
- ・食と命の地球科学（zoom）
- ・子どもの未来（zoom）
- ・NPO 会計オンラインセミナー（zoom）

2022 年 9 月 5 日
 2022 年 10 月 8 日
 2022 年 12 月 17 日
 2023 年 3 月 7 日
 2023 年 3 月 10 日、20 日、24 日

4. 広報事業

（1）機関誌『はーとふる』の発行

本運動の推進に役立つ情報を提供し、都道府県・地区明社への支援に寄与すると共に、全国各地で展開される本運動の広報に努めた。



機関誌はーとふる 2022 年 発送部数一覧

発送先 (作成部数)	春号	夏号	秋号	冬号
(1) 会員				
運営会員 (1 部)	87	76	69	71
個人賛助会員 (1 部)	460	464	420	421
団体賛助会員 (10 部)	1,330	1,490	1,610	1,610
終身会員 (1 部)	30	30	30	30
(2) 贈呈				
支援者、編集協力者、寄稿者、取材者 各都道府県 NPO センター、退任理事等	180	178	180	180
(3) 無料購読部数	3,940	0	0	0
(4) 協力団体	700	700	700	700
(5) 未加入団体	0	253	0	0
(6) 有料購読部数	650	1,277	1,594	1,433
合計部数	7,377	4,468	4,603	4,445

（2）Web 配信

（掲載）

- ・ホームページ掲載 55
- （内訳）全国明社情報 20
- 地区明社情報 35
- ・動画 8
- ・フェイスブック 53

(3) 明社レンジャー

- ・ 出動要請および衣装の貸し出しはなかった。

(4) 広報ツールの開発

- ・ 環境読本「環境問題を考える」の重版（300 部）
- ・ クリアファイルの製作 2000 部
全国の会員に配布した（機関誌「はーとふる」2022 秋号に同封）

5. 繰り越し事業：基金の活用

(1) 子ども支援活動

(2) 熊本地震支援活動

(3) 植樹支援活動

- ・ 以上の3つの基金について「被災地支援金使途検討委員会」にて支援の使途を検討した。

令和4年度 活動計算書（案）（その他事業がない場合）

特定非営利活動法人 明るい社会づくり運動
(単位：円)

科	目	金額	
【A】 経常収益			
1	受取会費		
	正会員受取会費	620,000	
	個人賛助会員受取会費	1,131,000	
	団体賛助会員受取会費	1,500,000	3,251,000
2	受取寄附金		
	受取寄附金	1,224,810	1,224,810
3	受取助成金等		
	受取助成金	7,000,000	7,000,000
4	事業収益		
	事業収益		0
5	その他の収益		
	受取利息	737	
	雑収入	0	737
経常収益計【A】			11,476,547
【B】 経常費用			
1	事業費		
	(1) 人件費		
	給料手当	0	
	役員報酬	0	
	退職給付費用	0	
	福利厚生費	0	
	人件費計	0	
	(2) その他経費		
	会議費	164,647	
	旅費交通費	498,295	
	現地活動費		
	諸謝金	582,444	
	印刷製本費	2,253,647	
	消耗品費	1,150,596	
	図書資料費	7,405	
	委託費	351,736	
	参加費	0	
	通信運搬費	803,321	
	その他経費計	5,812,091	
事業費計			5,812,091
2	管理費		
	(1) 人件費		
	役員報酬	0	
	給料手当	0	
	退職給付費用	0	
	福利厚生費	69,498	
	人件費計		69,498
	(2) その他経費		
	会議費	516,076	
	旅費交通費	487,281	
	通信運搬費	942,491	
	図書会費	28,300	
	消耗品費	336,604	
	修繕費	259,660	
	印刷製本費	145,957	
	光熱水料費	285,890	
	リース料	340,116	
	災害保険料	17,830	
	管理諸費	481,433	
	法人実務費	0	
	支払手数料	601,700	
	雑費	11,100	
	租税公課	0	
	その他経費計		4,454,438
管理費計			4,523,936
経常費用計【B】			10,336,027
当期経常増減額【A】－【B】・・・①			1,140,520
【C】 経常外収益			
	固定資産売却益	0	
	過年度損益修正益	0	0
経常外収益計			0
【D】 経常外費用			
	固定資産売却損	0	
	災害損失	0	
	過年度損益修正損	0	0
経常外費用計			0
当期経常外増減額【C】－【D】・・・②			0
税引前当期正味財産増減額①+②・・・③			1,140,520
	法人税、住民税及び事業税・・・④		0
	前期繰越正味財産額・・・⑤		83,871,489
次期繰越正味財産額③－④+⑤			85,012,009

令和4年度 計算書類の注記

特定非営利活動法人 明るい社会づくり運動

1. 重要な会計方針
- 計算書類の作成は、NPO法人会計基準（2010年7月20日 2011年11月20日一部改正 NPO法人会計基準協議会）によっています。
- (1) 棚卸資産の評価基準及び評価方法

該当なし
- (2) 固定資産の減価償却の方法

該当なし
- (3) 引当金の計上基準

退職給付引当金

該当なし
- (4) 施設の提供等の物的サービスを受けた場合の会計処理

該当なし
- (5) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は税込方式を採用しております。

2. 事業別損益の状況

科目	サステナブル事業 一斉活動	サステナブル事業 一緑活動	サステナブル事業 子ども活動	ネットワーク事業 Meishaミーティング	ネットワーク事業 明社推進連絡会	ネットワーク事業 相談業務	調査・研究業費	広報事業 1 機関誌	広報事業 2 WEB配信	広報事業 3 明社レンジャー	広報事業 4 広報ツール	繰り越し事業	事業部門合計	管理部門	合計
I 経常収益															
1. 受取会費	83,886	44,632	29,309	110,432	289,513	0	124,006	525,606	419,566	0	257,892	0	1,884,842	1,366,158	3,251,000
2. 受取寄附金								1,224,810					1,224,810	0	1,224,810
3. 受取助成金等								1,902,439	500,000		300,000		2,702,439	4,297,561	7,000,000
4. 事業収益													0		0
5. その他収益													0	737	737
経常収益計	83,886	44,632	29,309	110,432	289,513	0	124,006	3,652,855	919,566	0	557,892	0	5,812,091	5,664,456	11,476,547
II 経常費用															
(1) 人件費															
給料手当	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			0	0	0
福利厚生費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			0	69,498	69,498
人件費計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	69,498	69,498
(2) その他経費													0		
会場費													0	0	0
会議費	27,606			46,050				84,072	6,919				164,647	516,076	680,723
旅費交通費								423,815	74,480				498,295	487,281	985,576
現地活動費													0	0	0
諸謝金				37,274	286,979			241,486	16,705				582,444		582,444
印刷製本費	56,280	44,632	20,116	10,560	2,534		16,340	1,599,709			503,476		2,253,647	145,957	2,399,604
消耗品費			9,193	16,548			5,280	649,849	469,726				1,150,596	336,604	1,487,200
図書資料費								7,405					7,405	28,300	35,705
委託費									351,736				351,736		351,736
参加費													0		0
通信運搬費							102,386	646,519			54,416		803,321	942,491	1,745,812
図書会費													0		0
修繕費													0	259,660	259,660
光熱水料費													0	285,890	285,890
リース料													0	340,116	340,116
災害保険料													0	17,830	17,830
管理諸費													0	481,433	481,433
法人実務費													0	0	0
支払手数料													0	601,700	601,700
租税公課													0	0	0
雑費													0	11,100	11,100
その他経費計	83,886	44,632	29,309	110,432	289,513	0	124,006	3,652,855	919,566	0	557,892	0	5,812,091	4,454,438	10,266,529
経常費用計	83,886	44,632	29,309	110,432	289,513	0	124,006	3,652,855	919,566	0	557,892	0	5,812,091	4,523,936	10,336,027
当期経常増減額	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1,140,520	1,140,520

3. 施設の提供等の物的サービスの受入の内訳
該当なし

(単位：円)

内容	金額	算定方法		

4. 使途等が制約された寄附金等の内訳

使途等が制約された寄附金等の内訳（正味財産の増減及び残高の状況）は以下の通りです。

当法人の正味財産は85,012,009円ですが、そのうち3,041,516円は、下記のように使途が特定されています。

したがって使途が制約されていない正味財産は81,970,493円です。

(単位：円)

内容	期首残高	当期増加額	当期減少額	期末残高	備 考
災害支援事業1 (子ども支援寄付金)	1,128,600	10	0	1,128,610	来期の活動資金として使用予定
災害支援事業1 (熊本地震支援寄付金)	1,399,058	10	0	1,399,068	来期の活動資金として使用予定
災害支援事業2 (桜苗木基金)	513,832	6	0	513,838	来期の活動資金として使用予定
合計	3,041,490	26	0	3,041,516	

5. 固定資産の増減内訳
該当なし

(単位：円)

科目	期首取得価額	取得	減少	期末取得価額	減価償却累計額	期末帳簿価額
有形固定資産 車両運搬具 什器備品 無形固定資産 投資その他の資産 敷金						
合計						

6. 借入金を増減内訳
該当なし

(単位：円)

科目	期首残高	当期借入	当期返済	期末残高
合計				

7. 役員及びその近親者との取引の内容

役員及びその近親者との取引は以下の通りです。

該当なし

(単位：円)

科目	計算書類に計上された金額	内役員及び近親者との取引
(活動計算書)		
活動計算書計		
(貸借対照表)		
貸借対照表計		

8. その他特定非営利活動法人の資産、負債及び正味財産の状態並びに正味財産の増減の状況を明らかにするために必要な事項

- 事業費と管理費の按分方法

該当なし

- その他の事業に係る資産の状況

該当なし

令和4年度 貸借対照表

特定非営利活動法人 明るい社会づくり運動

(単位:円)

科	目	金 額	小計・合計
【A】 資 産 の 部			
1	流動資産		
	現金預金	85,026,501	
	未収金	0	
	棚卸資産	0	
	流動資産合計・・・①		85,026,501
2	固定資産		
	(1) 有形固定資産		
	車両運搬具	0	
	什器備品	0	
	(2) 無形固定資産		
	ソフトウェア	0	
	借地権	0	
	(3) 投資その他の資産		
	敷金	0	
	長期貸付金	0	
	固定資産合計・・・②		0
【A】 資 産 合 計 ①+②			85,026,501
【B-1】 負 債 の 部			
1	流動負債		
	未払金	0	
	前受金	10,000	
	預り金	4,492	
	流動負債合計・・・③		14,492
2	固定負債		
	長期借入金	0	
	退職給付引当金	0	
	固定負債合計・・・④		0
負 債 合 計 ③+④			14,492
【B-2】 正 味 財 産 の 部			
	前期繰越正味財産額	83,871,489	
	当期正味財産増減額	1,140,520	
正 味 財 産 合 計			85,012,009
【B】 負 債 及 び 正 味 財 産 合 計 【B-1】 + 【B-2】			85,026,501

令和4年度 財産目録

特定非営利活動法人 明るい社会づくり運動

(単位：円)

科	目	金額	小計	合計
【A】資産の部				
1	流動資産			
	現金預金			
	手元現金	127,931		
	みずほ銀行普通預金	54,796,340		
	みずほ銀行定期預金	30,044,236		
	郵便貯金	57,994		
	前払費用	0		
	未収金	0		
	棚卸資産	0		
	流動資産合計・・・①		85,026,501	
2	固定資産			
	(1)有形固定資産			
	車両運搬具	0		
	什器備品	0		
	(2)無形固定資産			
	ソフトウェア	0		
	借地権	0		
	(3)投資その他の資産			
	敷金	0		
	長期貸付金	0		
	固定資産合計・・・②		0	
【A】資産合計①+②				85,026,501
【B-1】負債の部				
1	流動負債			
	未払金	0		
	前受金			
	令和5年度個人賛助会費	0		
	令和5年度団体賛助会費	10,000		
	令和5年度運営会費	0		
	預り金			
	給与源泉所得税	0		
	報酬源泉所得税	4,492		
	報酬・料金源泉所得税	0		
	流動負債合計・・・③		14,492	
2	固定負債			
	長期借入金	0		
	退職給付引当金	0		
	固定負債合計・・・④		0	
【B-1】負債合計③+④				14,492
【B-2】正味財産合計【A】-【B-1】				85,012,009

監 査 報 告 書

令和5年4月27日

特定非営利活動法人 明るい社会づくり運動
理事長 大 石 雅 也 殿

1. 監査手続の概要

監事は、「特定非営利活動法人 明るい社会づくり運動」に関する定款第15条により、同法人の第22期（即ち自令和4年4月1日至令和5年3月31日）の令和4年度特定非営利活動に係る事業の会計、「財産目録」「貸借対照表」「活動計算書」の監査を行いました。

この監査に当っては、一般に公正妥当と認められる監査基準に準拠して、監査手続を実施しました。

また、同法人の個人情報保護規程（平成19年4月1日施行）第27条により、監査責任者として個人情報管理の監査を実施しました。

2. 監査の結果

令和4年度特定非営利活動に係る事業の会計、「財産目録」「貸借対照表」「活動計算書」は、法令及び定款に従い、「特定非営利活動法人 明るい社会づくり運動」の収入、支出並びに財産の状況を正しく示しているものと認めます。また、個人情報の管理が個人情報保護方針および個人情報保護規程に従い、適正に実施されていることを認めます。

3. 「令和4年度事業報告書」の内容に相違ないことを認めます。

監 事 中 村 陽 一



監 事 有 富 三 幸



3.審議事項

(3) 監事継続の件

監事一覧 (案)

役職	令和4年度(旧)	令和5年度(新)	内 容	議決機関と就任日
監事	中村 陽一	中村 陽一	継続(1期)	総 会 (就任：7月1日付) (定款第14条)
監事	有富 三幸	有富 三幸	継続(1期)	

(4) 東京都・法務局等への提出・申請書類の字句修正付託の件

(5) 被災地支援金の使途について

4.報告事項

(1) 令和 5 年度事業計画の件

○ 運営に関する事項

(1) 第 23 回「通常総会」の開催

日 時：令和 5 年 6 月 18 日（日） 13 時 30 分～15 時 30 分

実施形態：集合会議（対面方式）

- ・資料に基づいて事務局が説明
- ・質疑応答

参加対象：法人明社の運営会員

参加形態：通常総会開催通知文に、希望参加形態の用紙を同封する。

□参加の種別

- ①集合会議
- ②委任状および書面表決

(2) 理事会の開催

第 1 回理事会

日 時：令和 5 年 5 月 13 日（土） 10 時 30 分～15 時まで

形 態：集合会議

内 容：(1) 第 23 回通常総会の資料確定の件
(2) その他

第 2 回理事会

日 時：令和 5 年 9 月 16 日（土） 9 時 30 分～12 時まで

形 態：オンライン会議

内 容：令和 6 年事業方針について

第 3 回理事会

日 時：令和 5 年 11 月 11 日（土） 13 時～12 日（日） 12 時

形 態：集合会議

内 容：(1) 令和 5 年度事業の中間報告
(2) 令和 6 年度事業計画の検討
(3) その他

第 4 回理事会

日 時：令和 6 年 2 月 17 日（土） 9 時 30 分～12 時まで

形 態：オンライン会議

内 容：(1) 令和 5 年度決算見込みの報告
(2) 令和 6 年度事業計画・予算の件
(3) その他

2 一事業に関する事項

事業実施の方針

2030 年を目指した中長期計画を本年度中に完成させ、SDGs を柱とした「誰も取り残さない持続可能な社会づくりを目指す運動」を行う。

具体的には「SDGs 活動の日」で、昨年は多数の地区明社の参加があり清掃活動、一人でも参加できるゴミ拾い等が行われた。本年度も引き続き清掃活動、資源回収活動を 2023 年 6 月 1 日～30 日の期間で行うため全国の地区明社へ呼びかけ参加を募っていく。

また、被災地支援金使途検討委員会で検討している支援金の今後のあり方を明確にし、活用していく。

本年度も持続可能な社会の実現を目指していくために、全国の明るい社会づくり運動のネットワークを活かし、学習会や講演会等の活動を行う。

一方、不安定な社会が続き仕事を失ったり、収入減により食事がままならない子供や母子家庭が多く、子ども食堂やフードバンク等の支援を行っている地区明社もある。今、明るい社会づくり運動が行ってきた誰も取り残さない絆を広げるときと認識し、明るい社会づくり運動のサポーター募集を行う。

1. サステナブル事業

(1) 一斉活動「SDGs 活動の日」

目 的：明社運動を行っている方々とともに、清掃活動はじめ SDGs 活動への取り組む。

さらに一斉に行うことにより、都道府県・地区明社が互いに繋がり、ネットワークを作る契機とする。

内 容：それぞれの地区明社、個人が設定することとし、集団的な活動が出来ない場合は、家の周りなどに取り組む。

日 程：6 月 1 日（木）～30 日（金）の 1 か月を SDGs 月間とする。

※この活動が目指す項目



いちりよく

(2) 一緑運動（未使用ハガキの活用）

目 的：未使用ハガキによる国際支援活動を行う。

地球温暖化による干ばつ、砂漠化が進行する状況の中で水や食物などを満足に得られない過酷な環境の中で暮らす人びとへの支援を行う。

内 容：認定特定非営利活動法人 I C A 文化事業協会 (ICA ジャパン) の主催するアフリカへの植林活動を実施する。

※この活動が目指す項目



(3) 子ども活動

目 的：次代の社会を担う子供の健全育成の一助として、サステナブル活動の情報提供を行う。

内 容：青少年を対象とした環境・平和学習会等を2回程度実施予定。

2. ネットワーク事業

(1) Meisha ミーティング(オンライン)

目 的：法人明社の支援者である会員(運営会員、個人賛助、団体賛助)をはじめ、明社運動に取り組む人たちとの研修を通して活動の促進を図る。

内 容：年数回オンラインによって、研修会、講演会、集会等を開催する。

① 令和5年4月16日(日)SDGsセミナーの開催、年数回の企画開催予定。

(2) 明社推進連絡会(オンライン)

目 的：年次計画の報告及び運営上の課題を共有する。また、今後の明社運動のあり方を研鑽する。今年度は「著作権について」学習会を行う。

対 象：団体賛助会員の代表者(約130地区)、1団体1～2名。

形 態：オンライン会議

日 時：令和5年7月30日(日)午後

(3) 相談業務

目 的：都道府県・地区明社からの各種相談を行う。

基本的に電話・Zoomでの対応

3. 調査・研究事業

(1)「明社プラットフォーム」づくりのための地区明社活動支援及び情報収集

(2) CIに関する情報収集

(3) 各セミナーへの参加

目 的：情報収集を行い今後の事業へ反映させる。

内 容：情報収集を行い、当運動の今後のあり方を考えていく。

4. 広報事業

(1) 機関誌「はーとふる」の発行…4回/年

目 的：本運動の推進に役立つ情報を提供し、都道府県・地区明社への支援に寄与すると共に、全国各地で展開される本運動の広報に努めた。

内 容：本誌を通して、本運動に携わる人々と連携していくためのツール及び、活動のPRを行っていく。

① 発行時期—春号(4月)、夏号(8月)、秋号(10月)、冬号(1月)

② 発行部数—各号5,000部(運営会員、団体賛助会員、個人賛助会員、終身会員、協力団体、支援者、編集協力者、寄稿者、取材者、各NPO団体、退任理事、購読希望者)

(2) Web 配信

目 的：法人明社の支援者である会員(運営会員、個人賛助、団体賛助)との関係を円滑にしていくと同時に明るい社会づくり運動の広報ツールとする。ホームページの更新を行う。

(3) 明社レンジャー

目 的：地区明社や市民団体等の要請に応え、青少年の参加を募り「耀!連隊 明社レンジャー」のショーを行い、次代を担う子供たちやその保護者を中心に、平和の大切さや市民によ

- るまちづくりを啓発する。
- 内 容：①要請に応え、衣装を貸し出す。
- ②ショーやイベントに参加し広報援助を行う。

(4) 広報ツールの開発

目 的：明るい社会づくり運動を啓発促進するためのツールを、必要に応じて製作する。

5. 繰り越し事業：基金の活用

(1) 災害支援事業

4. 報告事項

(2) 令和 5 年度収支予算の件

予 算

令和 4 年度予算・実績、令和 5 年度予算 収支予算書（令和 4 年 4 月 1 日～令和 5 年 3 月 31 日）

（単位：円）

I 経常収入の部	令和 4 年度予算	令和 4 年度実績	令和 5 年度予算
1・会費収入	3,265,000	3,251,000	3,192,000
①運営会費	670,000	620,000	620,000
②個人賛助会費	1,215,000	1,131,000	1,122,000
③団体賛助会費	1,380,000	1,500,000	1,450,000
2. 事業収入	0		0
3. 補助金収入	7,000,000	7,000,000	7,000,000
①協力団体	7,000,000	7,000,000	7,000,000
②その他	0		
4. 寄付金収入（一般・指定）	520,000	1,224,810	700,000
5. 雑収入	500	737	500
6. 前期繰越金からの繰入	3,972,110	0	7,594,560
7. 基金からの繰入	0	0	0
8. 子ども支援基金からの繰入	1,128,600	0	1,128,610
9. 熊本支援基金からの繰入	1,399,058	0	1,399,068
10. 桜苗木基金からの繰入	513,832	0	513,838
経常収入合計（A）	17,799,100	11,476,547	21,528,576

令和４年度予算・実績、令和５年度予算 収支予算書（令和４年４月１日～令和５年３月３１日）

（単位：円）

Ⅱ 経常支出の部	令和４年度予算	令和４年度実績	令和５年度予算
１・事業費			
サステナブル事業	1,000,000	157,827	2,420,600
一斉活動「SDGs活動の日」	340,000	83,886	1,175,600
一緑活動（未使用はがき）	555,000	44,632	475,000
子ども活動	105,000	29,309	770,000
ネットワーク事業	715,000	399,945	960,000
Meisha ミーティング	310,000	110,432	730,000
明社推進連絡会	375,000	289,513	225,000
相談業務	30,000	0	5,000
調査・研究事業費	255,000	124,006	370,000
広報事業	6,787,200	5,130,313	8,067,200
広報事業費１（機関誌）	3,950,000	3,652,855	4,050,000
広報事業費２（WEB）	1,777,200	919,566	2,957,200
広報事業費３（明社レジャー）	210,000	0	210,000
広報事業４（広報ツール）	850,000	557,892	850,000
繰り越し事業（基金の活用）	3,041,490	0	3,041,516
災害支援事業費 （子ども支援、熊本地震支援）	2,527,658	0	2,527,678
災害支援事業費２（桜苗木基金）	513,832	0	513,838
事業費合計	11,798,690	5,812,091	14,859,316
２・管理費			
管理費	6,000,410	4,523,936	6,669,260
管理費合計	6,000,410	4,523,936	6,669,260
経常支出合計（Ｂ）	17,799,100	10,336,027	21,528,576
経常収支差額（Ａ）－（Ｂ）	0	1,140,520	0

令和５年度特定非営利活動に係る事業会計収支予算書(科目詳細)

	金 額 (単位：円)			計算式 等
I 経常収入の部				
1 会費収入				
・運営会費		620,000		62口 (5口減)
・個人賛助会費		1,122,000		374口 (31口減)
・団体賛助会費		1,450,000	3,192,000	145口 (7口増)
2 事業収入				
・集会事業収入		0	0	
3 補助金収入				
・民間助成金収入		7,000,000		協力団体より
・その他の助成金収入		0	7,000,000	
4 寄付金収入				
・寄付金収入		700,000	700,000	事業への指定寄付を含む
5 雑収入				
・受取利息		500	500	預金利息
6 繰越金より繰入				
・繰越金より		7,594,560	7,594,560	
・基金より		0		
・子供支援基金より		1,128,610	1,128,610	
・熊本支援基金より		1,399,068	1,399,068	
・桜苗木基金より		513,838	513,838	
経常収入合計 (A)			21,528,576	
II 経常支出の部				
1 サステナブル事業費				
・一斉活動「SDGs活動の日」				
印刷製本費	371,000			チラシ・証明書等作成
会議費	10,000			会議費
通信運搬費	584,600			発送費、電話代
消耗品費	10,000			備品
業務委託費	50,000			ボランティア協力金
旅費交通費	150,000	1,175,600		交通費
・一緑運動（未使用ハガキの活用）				
印刷製本費	70,000			チラシ・お礼状作成
通信運搬費	100,000			発送費
旅費交通費	300,000			交通費
消耗品費	5,000	475,000		事務用品
・子ども供活動				
印刷製本費	50,000			チラシ作成（デザイン料含）
通信運搬費	50,000			発送費
諸謝金	300,000			講演料
業務委託費	50,000			ボランティア協力金
会議費	50,000			会議費
旅費交通費	100,000			交通費
会場費	150,000			会場費
雑費	15,000			ボランティア保険
消耗品費	5,000	770,000	2,420,600	事務用品
2 ネットワーク事業費				
・Meishaミーティング				
印刷製本費	80,000			通知文等の作成（デザイン料含）
通信運搬費	50,000			発送費
会議費	40,000			会議費
諸謝金	500,000			講師謝礼
業務委託費	50,000			ボランティア協力金
消耗品費	10,000	730,000		発送用封筒
・明社推進連絡会				
諸謝金	150,000			講師謝礼
印刷製本費	60,000			通知文の作成
通信運搬費	15,000	225,000		発送費
・相談業務				
印刷製本費	5,000	5,000	960,000	相談用紙の作成

3	調査・研究事業費				
	旅費交通費	0			交通費
	印刷製本費	60,000			アンケート印刷費
	通信運搬費	200,000			発送費
	参加費	50,000			セミナー参加費
	図書資料費	10,000			資料購入費
	消耗品費	50,000	370,000	370,000	発送用封筒代他
4	広報事業				
	・機関誌「はーとふる」				
	印刷製本費	1,840,000			制作費（印刷、デザイン含）
	旅費交通費	700,000			交通費
	諸謝金	500,000			原稿料等
	図書資料費	20,000			資料購入等
	消耗品費	240,000			コピー用紙、発送用封筒作成他
	会議費	100,000			打合せ会議費
	業務委託費	100,000			ボランティア協力金
	通信運搬費	550,000	4,050,000		発送費
	・WEB配信				
	委託費	1,000,000			HPリニューアル費
	委託費	1,067,200			HP委託管理・新規コンテンツ制作・動画編集
	旅費交通費	300,000			交通費
	諸謝金	350,000			諸謝金
	会議費	30,000			取材打合せ等
	消耗品費	200,000			メディア等消耗品
	図書資料費	10,000	2,957,200		資料用書籍等
	・明社レンジャー				
	旅費交通費	100,000			出張旅費
	会議費	15,000			打合せ等
	通信運搬費	40,000			衣装発送費
	雑費	5,000			ボランティア保険
	消耗品費	50,000	210,000		備品購入
	・広報ルール				
	印刷製本費	800,000			パンフレット作成費
	通信運搬費	50,000	850,000	8,067,200	パンフレット発送
5	繰り越し事業				
	・災害支援事業1				
	子ども支援活動	1,128,610			現地活動費
	熊本地震支援活動	1,399,068	2,527,678		現地活動費
	・災害支援事業2				
	桜苗木支援活動	513,838	513,838	3,041,516	現地活動費
6	事業人件費				
	給料手当	0	0	0	
				14,859,316	
2	管理費				
	・主たる事務所の管理費				
	給料手当	0			
	福利厚生費	72,000			残業食事代等
	会議費	1,275,000			総会・理事会
	旅費交通費	1,610,000			理事会・総会 日帰り交通費
	通信運搬費	644,270			電話・宅急便・メール便・振込手数料
	図書会費	50,000			日本NPOセンター等会費・資料用図書
	消耗品費	696,000			事務用品・ゴミ処理券等
	修繕費	129,000			コピー機管理料
	印刷製本費	60,000			年賀状等
	光熱水料費	402,000			電気・水道
	リース料	182,000			コピー機・会計ソフト
	災害保険料	17,190			家財保険・動産保険
	管理諸費	600,000			エレベーター・建物保守管理・サーバー管理等
	法人実務費	4,000			登記印紙
	支払手数料	847,800			会計顧問料・法定調書作成
	租税公課	70,000			
	雑費	10,000	6,669,260	6,669,260	残高証明手数料等
	経常支出合計 (B)			21,528,576	
	経常収支差額 (A)－(B)			0	

4. 報告事項

(3) 理事変更の件

○理事一覧

令和4年度（旧）	令和5年度（新）		
氏 名	氏 名	内 容	議決機関と就任日
理事長 秋葉 忠利	理事長 大石 雅也	継続(1期)	理 事 会 (2023年5月13日) (就任：7月1日付) (定款第14条)
常務理事 澤田 章好	副理事長 藤川 智美	継続(3期)	
轟田 啓二	秀嶋 賢人	継続(2期)	
織笠 英二	井上 達也	継続(2期)	
藤川 智美	佐伯 雅子	継続(2期)	
村上 哲也	長町 孝子	継続(2期)	
大石 雅也	杉本 光正	新任(1期)	
秀嶋 賢人	笥 康夫	新任(1期)	
井上 達也	川端 健之	新任(1期)	
佐伯 雅子	福田 守	新任(1期)	
長町 孝子	田中 常隆	新任(1期)	

○定款第16条1項により、役員（理事・監事には任期が定められており、3期6年を超えて再任することはできません。内容欄で継続期の方には継続を表記しました。

○用語の定義（所轄庁・東京都）……（新任）は新しく役員になること。

5. その他

Handwriting practice lines consisting of 20 horizontal dashed lines.